

報道各位

TOKYO FM、デジタルハリウッド主催 『MULTIMEDIA CONTENTS AWARDS 2011』開催 ～デジタル時代のコンテンツクリエイターを発掘・育成を目指すコンテスト～ 応募期間:9月1日～10月31日

株式会社エフエム東京(東京都千代田区、代表取締役社長: 富木田道臣)とデジタルハリウッド株式会社(本校/本社: 東京都千代田区、代表取締役社長兼 CEO: 古賀鉄也、学長: 杉山知之)は、マルチメディア放送時代のコンテンツクリエイターを発掘・育成することを目指して、「MULTIMEDIA CONTENTS AWARDS 2011」の開催しています。「MULTIMEDIA CONTENTS AWARDS」は、昨年2010年に続き第2回目となります。

アナログTVの周波数跡地で整備されつつあるマルチメディア放送。全国一律で主に携帯電話向けの「V-HIGH マルチメディア放送」の開始が間近に控え、地域別放送の地方密着型「V-LOW マルチメディア放送」も制度整備が進み、2013年に放送開始予定とされています。「V-LOW マルチメディア放送」の受信端末は、携帯電話にとどまらず、デジタルサイネージやフォトフレームなど様々な端末が開発されています。また、地域密着型放送であることから、東日本大震災を機に、緊急時の安心安全情報伝達の手段としての役割に、あらためて注目が集まっています。

「V-LOW マルチメディア放送」は、既存放送業者以外の企業の新規参入を歓迎しており、放送コンテンツ制作業界の門戸をオープンにし、放送サービスというものの新たな活用法を広げようとしています。「MULTIMEDIA CONTENTS AWARDS」は、既存の放送関連業界以外の、様々な事業領域のクリエイターの方々に、活躍のきっかけを提供します。いままで放送に関わっていなかった、通信業界・雑誌業界・ゲーム業界などで活躍中のクリエイターの方々からも、放送波を利用した魅力あるサービスの企画・提案が集まることを期待しています。

また、第1回目と同様、趣旨に賛同する協賛企業の選考による企業賞の設置もいたします。「MULTIMEDIA CONTENTS AWARDS」の審査員として参加することで「V-LOW マルチメディア放送」の電波による電子物流における先進イメージを獲得でき、事業チャンスへ結び付けられるとご好評いただき、今回も多数の企業より参加希望を頂いております。

今回は、以下の2部門の募集を行います。

1. 【カーナビ部門】…企画書のみでも応募可能！

新しい放送制度を利用したもっとドライブや旅行が快適・安全かつ楽しくなる新しいカーナビサービスを募集します。放送波を使って、カーナビの主要コンテンツである「交通情報」や「地図」に連動した地域ごとのデータをリアルタイムで配信する新たな広告モデルや課金サービスは、地域密着型が特長である「V-LOW マルチメディア放送」の特性に適した事業と言われています。この事業アイデアや、エンタテインメントの音声や動画の利用など、従来型の「放送」の概念にとらわれず、放送波を利用したドライバー向け新型サービスのアイデアを期待しています。幅広い分野の多彩なクリエイターからの応募をお待ちしています。

2. 【デジタルサイネージ部門】…斬新な映像作品を募集！！

デジタルサイネージに、どのような映像が流れていけば、楽しいでしょうか？デジタルサイネージが設置する「場所」も設定していただき、どのような映像を流せば、楽しく便利な電子看板になるかを考慮した映像作品を募集します。広告映像でもOKです。アニメ・実写など、映像の種類は問いません。

昨今、広告媒体として期待を高めているデジタルサイネージに、放送の電波を「伝送路」として利用し、リアルタイムで地域ごとに異なる様々なコンテンツを配信できる「V-LOW」ならではの長を生かした、デジタルサイネージの媒体価値を更に高める自由な発想を期待しています。

詳細は公式ホームページをご参照ください。

<http://www.dhw.co.jp/mmcawards2011/>

<『MULTIMEDIA CONTENTS AWARDS 2011』概要>

■**応募締め切り** 2011年10月31日(月)消印有効

■賞

最優秀賞(1作品)賞金30万円+記念品
協賛企業賞(5賞予定・協賛企業から副賞)

■**受賞作品発表**:2011年11月中旬予定(公式HP上にて発表)

■審査員

杉山知之(デジタルハリウッド大学 学長)
黒坂 修(株式会社エフエム東京 常務取締役)
中村伊知哉(慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 教授)
やまだひさし(ラジオパーソナリティ)
甲賀 武(クワトロメディア株式会社 代表取締役社長) 他

■参加資格

- ・年齢・性別・国籍不問
- ・プロ・アマ不問
- ・応募者は応募作品の著作権を有すること(作品中の使用楽曲は、自作または著作権フリー)
- ・複数作品応募可能

■送付先および問い合わせ先(マルチメディアコンテンツアワード事務局)

有限会社ハビタス 〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町29-33 #504 TEL:3-5489-7778

<参考:「MULTIMEDIA CONTENTS AWARDS 2010」概要>

◆応募総数:66作品

◆募集部門

- 1【作品制作部門】マルチメディア放送の主要受信端末デジタルフォトフレーム部門
- 2【企画部門】マルチメディア放送サービス企画部門
- 3【企画部門】ラジオ連動アプリ企画部門

◆最優秀賞(30万+記念品):木村隼人(立教大)「チューニングしない 街に転がるラジオ -ラジオコロ-」
マルチメディア放送サービス企画部門から、審査員の満場一致で選出。GPSと連動し、今いる場所の近くのお店や観光名所などの情報を音声で紹介するサービス。音声情報は、マルチメディア放送波で随時更新するという企画。いわゆる「しゃべる地図」サービス。

◆協賛企業賞一覧(10万相当の副賞)

- ・デジタルハリウッド賞
- ・TOKYO FM賞
- ・クワトロメディア賞
- ・TOKYO MX賞
- ・ジグノシステムジャパン賞